

GIF-2250

(調整後は-20°C)

- ・ DMSO 10 μ Lに溶解 (3mMになる)
- ・ 試料により \sim 3 μ Mで添加
- ・ 5 \sim 10分室温
- ・ 観察

* 可能であれば、WAKO社の無酸素DMSOを利用

(顕微鏡観察：細胞外小胞)

- ・ 2 \sim 10 μ Lをカバーガラスへ滴下
- ・ X1000で観察 (B-励起、FITC/GFP)

* 上下でカバーガラスで覆うこともよい

(プレートリーダー)

- ・ 試料をpH9のBufferで1/2希釈
- ・ 測定 (B-励起、FITC/GFP)
- ・ Negative controlからの引き算

* pH標準液のホウ酸Bufferでよい

* ガラスボトムplateが高感度

(顕微鏡観察：細胞内エンドソーム観察)

- ・ 培地は \sim 1%血清の培地が好ましい。
- ・ GIF-2250 final 0.3 \sim 3 μ M
- ・ \sim X1000 \sim で観察 (B-励起、FITC/GFP)

* 3%血清存在化でも可